

営農だより 第6号

おいしいをつくりましょ。

富士伊豆農業協同組合

発行 2023年(令和5年)5月19日
北駿産米改良推進協議会
JAふじ伊豆御殿場営農経済センター
電話 0550-84-4820

- 目標**
- ①「米ぬか入り肥料」の施用により、循環型農業の実践
 - ②粒張が良く、食味値80点以上の良食味米

～除草剤を適期に散布し効果的に雑草を減らしましょう!!～

そろそろ田植えも落ち着いてきた頃でしょうか？作業をする際はこまめに水分補給・休憩をはさみながら、体調を崩さないように気を付けましょう。

今年の4月は例年に比べ気温が高い日が続き、徒長気味の苗が散見されました。5月に入ると気温は平年並みでしたがGW明けの7日、8日に激しい風雨により植え傷みが各所で見受けられました。来年は植え傷みが発生しにくいずんぐりむっくりした苗づくりを目指しましょう。気象庁では向こう1ヵ月の気温・降水量・日照時間はほぼ平年並みとされています。また5～7月は気温は高いものの降水量はほぼ平年並みの見込みです。

風雨による植え傷みが発生していないほ場では当面は上手な水管理として、分げつをとるため2～3cmの浅水管理をして下さい。夜もしくは早朝の入水とし、日中は入水を避け水温の確保に努めて下さい。良食味米生産のポイントである太く、揃いの良い分げつ確保を目指した水管理を行いましょ。

田植え後、藻類の発生が見られます。初期生育の阻害となる為、モゲトンで早めの防除を徹底しましょう。何事も初期対応が肝心です。早めの対応を心がけましょ!!

【御殿場の気象】アメダスデータ御殿場

項目	平均気温 (°C)			日照時間 (hr)			降水量 (mm)		
	本年	平年	差	本年	平年	%	本年	平年	%
4月前半 計	12.3	10.2	2.1	110.2	81.9	134.6	143.5	134.6	106.6
4月後半 計	13.6	12.7	0.9	82.6	79.4	104.0	99.0	118.0	83.9
4月 計	13.0	11.5	1.5	192.8	161.3	119.5	242.5	252.6	96.0
5月1～5日	14.9	14.4	0.5	51.9	27.8	186.7	0	37.7	—
6～10日	15.6	15.0	0.6	31.5	25.6	123.0	254.0	41.0	619.5
11～15日	13.2	15.5	▲2.3	8.4	24.5	34.3	59.5	42.6	136.7
5月前半 計	14.6	15.0	▲0.4	91.8	77.9	117.8	313.5	121.3	258.5

令和5年度農事気象予測<齋藤式>

6月

気象予測：気温高く、梅雨入りは平年並み。梅雨後半から梅雨明けに大雨あり。

農事予測：地温低下傾向なれば作物全般に生育遅気味になる。また湿気多く病害に注意のこと。

定点調査(植付)

5月16日(火)現在

場所	標高(m)	株間(cm)	茎数(本)	草丈(cm)	葉齢	田植え日
神山	295	19.4	3.7	17.3	4.3	5月3日
吉久保	370	21.6	3.2	21.0	4.9	5月3日
大堰	400	21.5	3.1	21.0	3.2	5月12日
用沢	460	18.6	2.8	20.4	4.9	5月3日
仁杉(カントリー周辺)	500	22.7	4.5	17.4	3.5	5月5日
中畑	550	21.4	4.2	21.0	4.7	5月4日
上柴怒田	610	22.3	3.0	19.2	4.4	5月4日
平均			3.5	19.6	4.3	

※参考にして下さい。

ほ場周りの1本苗を見つけ、一番伸びている葉の次に出てきた葉にペンで印や番号をつけてみましょう。およそ1週間で1枚進みます。毎週出来るだけ同じ曜日に確認すると分かりやすいです。

※ 1～2枚目は溶けているかも…

詳しくは営農経済センター担当者まで!!

【水管理】

- ・今年5月初めの風雨により植え傷みが発生しているほ場が散見されます。
- ・『太く揃いの良い分げつを確保』するには、水管理が重要!! 活着後、浅水管理で「分げつ」を促します。(7枚目の葉が出る、5月末くらいまで)
- ・6月上旬から6月下旬まで深水管理をし、その後中干しを開始し無駄な分げつの抑制と根の健全化を図ります。(深水は7～9葉期に行います)

《太茎が簡単にできる、深水管理!!》

水の深さ：葉耳の位置まで。

期間：7葉期(6月上旬)～9葉期(～6/30頃)

中干し：深水終了後、軽い中干しをする。

7～14日程度(湿田は長めに行う)

その後の管理：間断灌水を収穫10日前頃まで実施。

葉齢を測ることによってイネの年齢が分かり、勘に頼らない適期作業が可能となります。



葉耳

【除草剤の上手な使い方～水管理と散布時期が重要!!】

中期剤編

初期剤の使用後、ノビエの3.5～4葉期になるまでに使用する除草剤です。初期剤施用後に使用する為、一発処理剤より時期を遅らせて使用する事ができるので、遅れて発生した雑草に効果的です。
レプラス1 粒剤/ジャンボ・ブイゴール SM1 粒剤

後期剤編

初期剤・中期剤でも枯らせなかった（残ってしまった）雑草に使用します。ある程度大きくなってしまった雑草にも効果的です。
後期剤の中には落水して散布する種類もあります。使用方法をよく確認してお使い下さい。
クリンチャー1 粒剤・クリンチャーバス ME 液剤・バサグラン粒剤

【使用方法】

- ①ほ場に3～5cm くらいの水を張り、湛水状態にして下さい。
- ②除草剤を均一に散布し、散布後7日は必ず水尻を止めて3～5cmの湛水状態を保って下さい(処理層の完成には3日間必要)。水持ちの悪いほ場は夜間ゆっくり入水しましょう。
※ジャンボ剤・フロアブル剤を使う場合は、湛水状態を粒剤よりも深く・長めに保つ。
- ③落水やかけ流しはしない。水を切らしてしまうと除草剤の処理層が壊れ、効果が半減してしまいます。
- ④散布時期は、それぞれの除草剤の適期・対象雑草を確認して使用をお願いします。(雑草の発生が確認されたら早めに対応しましょう。ほ場の外周で発生が見られる頃にはほ場中の雑草の生育が進んでいる可能性があります。)

○藻類の対策・・・モグトン粒剤

生育初期に藻類が発生すると分けつの確保を妨げる原因となるため、早期防除を心がけましょう。(藻が発生している部分のみのスポット散布が可能です)
※晴天で暑い日に散布すると効果的です。



○病虫害防除

イネドロオウムシ防除	イネミズゾウムシ防除
使用薬剤：トレボン粒剤 使用量：2～3 kg/10 a	
低温で曇雨天が続く場合は被害が急激に増加します。箱剤を施用した水田も注意して観察し、発生状況によって追加防除を行いましょう。	畦畔、山林等で越冬し田植後に本田に飛来します。被害株では活着が著しく遅れ、生育が停止する恐れがあります。毎年この時期に発生が多く見受けられます。自身のほ場の確認をしましょう。

(グリーンな栽培体系への転換サポート事業)

スマート農業機械による実証実験実施中

アイガモロボ・・・環境負荷低減(除草剤の散布回数減)
水位センサー、給水ゲート・・・省力化(水位等の見回り回数減)

協力者：神場生産者、柴怒田生産者
事務局：JAふじ伊豆御殿場地区本部、御殿場市農政課、静岡県東部農林事務所

アイガモロボとは

スクリーで水中を攪拌し、その勢いで土壌を巻き上げ、水を濁らせる。これにより遮光させ雑草の発生を抑えます。タブレットではほ場内の経路を作成し、自動航行させます。(稲の草丈30cmくらいになったらアイガモロボ引き上げ。)

水位センサー・給水ゲートとは

設定した水位で自動的に入水管理を行います。

アイガモロボの稼働時間は6:00～16:00。
ソーラパネルで給電し、すべてタブレットにて管理を行っています。

アイガモロボ



- 〔試験ほ場〕
- ①清後カミヤマ 703 45a (山之尻共同墓地向かい)
 - ②竈モジリゼキ 1474-1-B 16a

〔実施期間〕
アイガモロボ
6月中旬まで
水位センサー・給水ゲート
刈取時期まで



給水ゲート



水位センサー

看板が立っている
ので、ぜひ見に来て
ください!!